

6団体に市民公益活動事業補助金交付

コロナ対策をしてプレゼン実施

令和3年度狛江市市民公益活動事業補助金プレゼンテーション及び選考会が5月29日(日)に防災センターで催された。

募集にはスタート補助金に2団体、チャレンジ補助金に4団体が応募。選考の結果、6団体に補助金の交付が決まった。

選考会は、スタート補助金は書類審査のみだが、チャレンジ補助金はプレゼンテーションを行った。今年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため、応募団体の参加者の人数制限



プレゼンテーション

や、団体が時間差で出席するなどの対策が取られた。参加した4団体は、石田寿彦委員長ら5人の選考委員を前に10分間にわたって事業の内容を説明するとともに、選考委員からの質問に答えた。その後、各選考委員が事業内容の公益性や将来性、独自性などを評価し、その結果を元に選考会で交付、不交付、交付額について協議を行った。

チャレンジ補助金の交付

団体は、元気スクールグループ、狛江でクラシック企画委員会、ミュージカルCoCo〜、子育ての輪。スタート補助金は、りぷりと・狛江 かわせみ、タルトタタンの2団体。

特産のえだまめまつりと農家応援セールを開催

狛江産の野菜を味わってと狛江市都市農政推進協議会が狛江市役所前市民ひろばで、今月上旬に「えだまめまつり」と「農家応援セー



昨年のえだまめまつり

ル」を開催する。「えだまめまつり」は5日(日)・6日(月)の午前9時から特産品の枝豆を通常より安く販売する。昨年は新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため事前申し込み制だったが、今年度は例年通り会場で直売する。また、タマネギやジャガイモの販売も行う。枝豆購入者に先着順で花の種をプレゼントする。販売は売り切れまで行われるが、例年は約1時間でなくなるほどの人気だ。

今年の枝豆は5月下旬からJAマイズ狛江支店や市内のスーパーマーケット、直売所などで販売されており、生産者によると出来は順調で味も良いという。

「農家応援セール」は11日(日)午前9時からで枝豆をはじめナス、キュウリ、トマトなどの夏野菜を通常より2、3割安く販売、売り切れ次第終了する。

市内にはレストランなどへ直接販売している農家があるが、新型コロナウイルス感染症による緊急事態宣言の影響で取引先が休業し、野菜が売れないケースがあるという。こうした農家を応援してもらおうと初めてセールを催すことになった。

主催者は、いずれもごみ減量や省資源のため買い物袋の持参を呼びかけている。

問い合わせは ☎3488-3435 JAマイズ狛江支店。

Start & Challenge

17日・18日にミュージカルCoCo〜が「外伝 オズの魔法使い」

市民劇団ミュージカルCoCo〜(田部谷道子代表)が、エコルマホールで「外伝 オズの魔法使い-2021-」(狛江市、狛江市教育委員会ほか後援)を17日(日)午後5時と18日(月)午後0時30分・4時30分に公演する。

上演作品は、演出家・脚本家の野崎美子さんが以前子ども向けに作った「オズの魔法使い」を元に、「現実世界から魔法の世界に迷い込んだが、もう一度ふるさとに戻って自分の内面と向き合って生きる」という成長ストーリーに書き直したもの。当日生バンドに乗せて出演者が披露する歌も野崎さんがすべて作詞した。

出演する小学5年から60代の団員17人は4月下旬から新型コロナウイルス感



けいこに励む団員たち

染症防止対策を取りながら熱心にけいこを続けている。

公演にあたって狛江市市民公益活動事業補助金を受け、活動の費用などに充てられる。劇団では「公共施設がけいこ場として使えず、公演も席数を半分に減らすなど実現には苦労も多かった。新型コロナウイルス禍による閉塞感や沈みがちな心を、前向きな気持ちになれるように多くの人にエネルギーを送りたい」と話している。

入場料は1,000円で、車いすの人は事前に連絡が必要。チケットはエコルマホール、泉の森会館で取り扱っている。

問い合わせ ☎090-2766-8231 ミュージカルCoCo〜または M coco_info_32514@yahoo.co.jp。

Shop & Service Guide ...4

いらっしやいませ

寺子屋一心舎

寺子屋一心舎は、子どもが自らが考え、行動する力をつけるための自立型学習塾。小学生と中学生を対象にした学習塾に加え、オンライン英会話教室、グループワークショップやイベント、野外活動などを行うPDC探究心エンジン教室、通信制高校サポートキャンパス、ロボット作り教室、ボードゲーム教室などユ

ニークなコースがある。塾長の松葉優さん(42)は、高校生時代から国士舘大学の2年生まで三段跳びの選手として活躍し、トップレベルの環境でのトレーニングを経験した。引退後、多くの世界レベルのアスリートを育てた高校時代の恩師に触発されて教育に関わる仕事を志し、専門学校に勤めて各種教室の運営

子どもの自立心を養う学習塾 楽しく学び人としての成長促す



学習する小学生たち

☎5761-3463 和泉本町1-2-5サブマリビル3階 営業=午後2時~10時 日曜・祝日休み

「あなたが主役」狛江駅前ライブの出演者を募集

狛江駅北口交通広場(噴水ステージ)またはえきまえ広場(狛江駅北口交番横)で開催され、人気を呼んでいる駅前ライブの出演者を募集している。

このライブは、様々なジャンルの生の演奏を開放的な空間で多くの市民に楽しんでもらい、「音楽の街-狛江」を盛り上げようというもので、これまでに多くの音楽グループが出演してきた。11月の市民まつりをは

じめ日曜日か土曜日に年間6回程度催され、演奏時間は1組30分程度。募集概要は、アマチュアで活動し、「音楽の街-狛江」の活動に賛同できる人で、ジャンルは問わないが、楽器・機材は出演者が持ち込む(基本PAは主催者で



駅前ライブ

マネージメントを担当。平成25年に寺子屋一心舎を設立した。

自身の私立中学・高校受験の経験を元に「自分でやる気を持たないと成績は伸びない」と考え、一般的な学習塾と違う、学習を通して人として成長することに力点を置いている。そのため、「やらせる」指導は行わず、進行役に徹している。

小学部では、始まる前に子ども一人一人に「きょうは何をする」と聞いて子どもに考えさせ、宿題や自立学習ができるように促す。また、文具メーカーのアイデアコンテストにグループで出展するなど、学校の勉強にとらわれない自由な発想で、子どもの自立性・自発性を養う方法を採用している。

当初は小学生の学習塾としてスタート。子どもの成長に合わせて3年前に中学部を開設した。



塾長の松葉さん

大学生になった一期生のOB桜井優さんは「型にはまった教育内容ではなく、その後の勉強に応用できる考え方の軸が学べた」と評価している。

松葉さんは「子どもたちの将来の可能性を広げるために、うちは進学塾ではないので、進学重点校以上への進学を希望する子には受験のテクニックなどを教える他の塾を紹介しています」と話し、今後は若者や主婦などを対象に、引きこもりなど様々な理由で学校に行けない子などを教える家庭教師を養成する部門を作りたいと意欲をみせている。

また、狛江市陸上連盟の理事を務めるほか、今年4月から都立狛江高等学校陸上部の学外指導員になるなど、地域での活動の場も広がっている。

つなげよう 音楽の架け橋

送または持参する。応募資料は返却しない。

選考は音源などによって音楽の街-狛江エコルマ企画委員会で選考する。

委員会では、アマチュアとして音楽を楽しんでいる人やグループ、自分のバンドをアピールしたい人などに応募を呼びかけている。

問い合わせ ☎3430-4106 一般財団法人狛江市文化振興事業団。